

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)		その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・前年1月の動きは少なかったが、今年は秋口と変わらないほど多くの葬儀が入っている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・今月末頃から、学校へ新学年の体育衣料の納品が始まっている。お陰様で、注文数も前年と変わらずあるので、何とか良い方向に行くともっている。
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・前月から継続して、フリー利用が好調で、予約状況も悪くなかったため、順調に推移している。天候が安定したことで、フリー利用が伸びたようである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・消費者の購買意欲が全くみえない。商品の動きが悪いだけでなく発生業務も少ない。客は相変わらず余分な出費を控えている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・年明けに寒さが続き、暖房器具とエアコンの需要が若干あったものの、全般的には低調である。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・前年は大雪で大きく売上を落とした。今年は暖冬で勝ち越さなければいけないところ、前年売上にやっとといった状況である。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・降雪が少なく、来客数は比較的堅調なものの、買上点数は減少しており、野菜や豚肉の相場安で売上減となっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・大きな流れは変わらない。来客数に変化はないが、下がり続けているわけでもない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・気温が上がって天候が良くなるまで、客は動かない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・売上は例年以上の推移をしているが、前年の天候を加味すると、平年並みである。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税前の買換えと思われる新車需要が緩やかながら感じられる。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車、中古車共に、車両販売は低迷している。車検や一般整備で補っているものの、今月は整備も在庫数が減少し、厳しい状況である。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・例年1月は、一服感が出るころだが、今年は、「平成最後の」需要や、消費税増税を想定した早めの買換え需要があり、前年末から引き続き、前年実績を超えている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・インフルエンザの流行で外出を控えるように促す報道を、恨みたくなるような客足である。例年以上に冷え込んでいる。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・お正月は前年より曜日の並びで1日短く、やや減であった。また、例年、年末年始は常連だけで満室だったが、最近はどうでもなく、年末年始もインターネットで販売しないと埋まり切らない。法人利用はやや良くなっている。結果、プラスとマイナスの要因が同じぐらいで変化なしとなっている。
		都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・12～1月の宿泊実績は例年並みで、2月以降の予約も前年並みである。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・1月の新年会は件数、売上共に前年とほぼ同じである。景気は前年とほとんど変わらない。
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・国内旅行目的の来店客の減少が目立ち、旅行相談でも安価な旅行先が多い。海外旅行はゴールデンウィークの申込みが増加傾向であるものの、3か月前と状況は変わらない。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・ここ1年間を振り返ってみると、月によって違うが、売上が前年比100%を超えたことは1度もない。大体92～96%で推移している。	
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新規加入や問合せを含めて、相変わらず客の反応が少なく、低調である。	
	遊園地（職員）	来客数の動き	・料金の変更や、各種人気コンテンツとのコラボ企画及び期間限定イベント等の集客施策を実施している。引き続き、来客数の動きは好調である。	

	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・気温も低くなく晴天が続いたため、平日、日祝日共に、来場者は安定している。年齢層の高いゴルファーが多く、安全なコース管理を心掛けている。	
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・工期が重なる物件が多数あり、状況は変わっていない。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・例年、正月明けからは人通りが少なくなるが、今年は特に、夜のにぎわいが無い。	
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・今年に入り、株価の低調さやマスコミのニュース等、余り良い話が出ていないので、消費者心理も低調と感じている。	
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・今月25日までの来客数は前年比93%で、売上は10%増である。売上増については、前年に比べて新年会の注文が増えたことや周辺でイベントが増えたためである。25日以降にも3か所でイベントがあったので、最終的に売上はもう少し増える。天候に恵まれ降雪も少なく、来客数減の理由は分からない。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・1月は正月三が日を除けば、ほとんどイベントがなく、売上は非常に低調な月である。特に今月は、降雪が多く、一段と厳しい状況である。	
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月は天候や気温なども悪くはなく、どちらかと言えば良かったくらいだが、来客数がなぜか伸びず、やや悪い。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・12月あたりから人の動きが悪くなっているようで、フリーの客、宴会予約共に、めっきり落ち込んでいる。	
	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・近隣スキー場の降雪はオープンに間に合い積雪も充分だが、宿泊するスキー客が減少している。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・毎年この時期は気温が低く来客数が減るので、売上も減少している。最近、同業者との話題は、この時期の売上単価や来客数についてが主で、人手不足の話は、出てこない。	
	その他サービス [貸切バス] (経営者)	販売量の動き	・旅行の繁忙期が終わり閑散期になったため、やや悪くなっている。	
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・年末年始の別荘地への客の入込は、前年同期比約1割減となっている。	
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・正月明けが閑散とするのは例年のことだが、今年は東日本大震災時を思い出させるくらい、閑散としている。先行き不透明で不安を感じている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ここ数年、新年会らしい目立った動きはない。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きと回答しているが、客の様子の選択肢とどこが違うのかいつも思っている。客の動き、様子が非常に良くないと感じている。競争相手はよく分からないが、今は最悪の状態ではないか。
企業 動向 関連 (甲信越)	-	-	-	
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・相変わらず、卸売業では同業者間の価格競争による販売単価の下落から、売上の減少が見られる。観光関連宿泊施設では、例年どおり予約が入っており、売上も好調な企業が多い。	
	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・新酒を始め、2,000円以下の比較的手ごろな国産酒が伸びている。ただし、安価なチリ産、スペイン産ワインに押されて、割高の物の売行きが伸び悩んでいる。	
	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格が低迷しており、当社が高いというよりは、他社が売価を下げてきているようである。商品の性質上、必然的に当社の商品は選ばれなくなってしまう。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特注品、店頭販売品共に、受注量が減っている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・試作案件は変わらずにある。いざ生産となると、部品が集まらず、流通の悪さを感じる。	

	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・百貨店や量販店の正月売上は好調だったと聞いている。ただ、その好調さは持続しているわけではなく、日によって、正月の反動なのか落ち込む日が多かったようである。チラシ出稿量は、元旦、3日付けは前年を上回ったものの、1週間で見ると減少している。今月は前年比93.1%と厳しいスタートである。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月は国際宝飾展が行われたが、売行き不振から来場しない会社が多かったため、来場者が減って、売上は前年比10%の下落である。また、頼みの中国人バイヤーは、中国国内の景気減速や通関の規制強化のあおりを受けて、同じく来場、購買共に減少している。業界にも危機感が出て来ている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・冬季に入り受注量が少なくなっている。また、工事の規模も小さくなっているようである。	
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業など受注は堅調であるものの、米中貿易摩擦の影響が、一部の景況感を低下させている。	
	×	食料品製造業（製造担当）	競争相手の様子	・当社と同様に県内同業者も、売上、販売点数が落ち込んできている。
雇用 関連 (甲信越)		-	-	-
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・12月からの新規求人が、前年度を更に上回っている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・職安等の案件も例年に比べて少ないなかで、スキルや給与の条件が合わないという相談も多い。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・求人数は引き続き増加傾向である。周辺の大手製造業の何社かは、求人チラシを新聞折込して、積極的に募集をしている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は2倍を超えてきたが、新規求人は更新時期のずれや募集人員を抑え気味の傾向もみられ、全体で2.7%の減少である。求職者にも活発な動きは見られず、新規求職は、在職者が12%の減少で、全体では11.2%の減少となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は1.67倍と3か月前と比べて0.03ポイント上昇しているものの、求人数に大きな変動はない。製造業における直接雇用求人がやや減少傾向にあり、その分、派遣求人が増加しているようである。
		*	*	*
	×	-	-	-